大切な教科書

武蔵中学校 三年 川北 あおば

私達は、小学一年生の時からずっと教科書を使い授業や勉強をしている。

小学校の時、学年が変わるごとに新しい教科書が配られる。そして名前を書く。その時いつも目に入っていたのは、教科書の裏に書いてある「0円」だった。小学校の時のまだ何も知らなかった私は「この教科書は無料なんだ。」と思った。それと同時に「なぜ無料なんだろう？」と思った。今も教科書を使い続けている。教科書の税についてまだ知らないことがあって使っているかもしれないと思い教科書の税について調べて考えてみることにした。まず、小学校の教科書は日本を担うみんなへの期待をこめ、税金によつて無償で支給されている。教科書の裏には「大切に使いましょう。」と書いてある。自分は日々の授業や教科書を使った場面を振り返った。正直な所、教科書をカバンにしまふときは折り曲がり、授業中は教科書の写真に落書き、大切には使っていなかった。色々と教科書についての税を調べてみると、「外国」というキーワードが出てきた。外国の学校の子供達は、日本の学校とは違い教科書が無償で一人一人に支給されない。そして、使い回しをしたり、直接書き込みはダメ、教科書をもらいたい場合は、自分で購

入しなければならぬといけぬということを知った。家に持ち帰る時は許可をとらぬといけぬ。それとは別で税金を払っているのに、学校に通うことができなかつたり、教科書をもらつてなかつたりする国もある。普段あたりまえに行つてゐる学校、あたりまえに使つてゐる教科書は他の国の人からしたらあたりまえではない。私達が暮らしている日本では、「税金」がある。自分は税金なんかいらぬと思つてしまつた時期もあつた。けれども税金は私達が暮らしたり学校に行けたりするための重要なものだ。他国では学校に行けない子や教科書がもらえない子がいる。中私達は学校に通えて教科書も中学三年生まで毎年のようにもらえる私達はとても幸せ。その事を皆に分かつてもらいたい。幸せということに気づけなければ税金の大切さは分からない。それだけでなく、一ページ一ページカラーで印刷されているのも皆が見やすくなるためだ。教科書は決して無料というわけではない。私達のためにずっと積み重ねられてきた税金の支えによるもの。その税金を利用する私達はしっかりと心の中にとめておくべきだ。自分は来年高考生になるため来年は無料ではなくなつてしまふ。教科書一冊一冊お金がかかつてしまふ。だから、税金で配られている教科書を色々な思ひで今、大切に使いたいと思つている。

今さら税金のありがたさを知るのは遅いかもしれないが、税金があることにとても感謝している。税金に対して前とは違つた気持ちがある。残り七か月最後の税金での教科書でたくさん勉強し高校受験を頑張ろうと思ふ。